

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

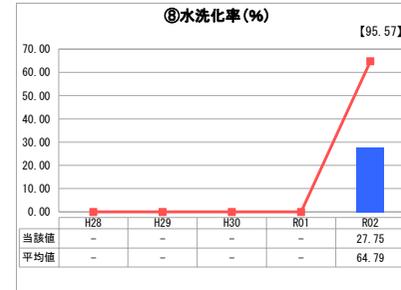
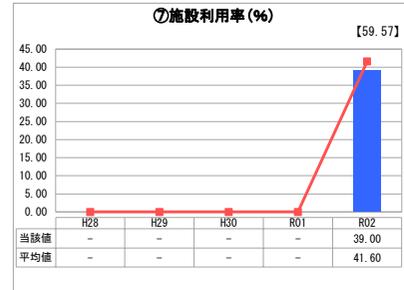
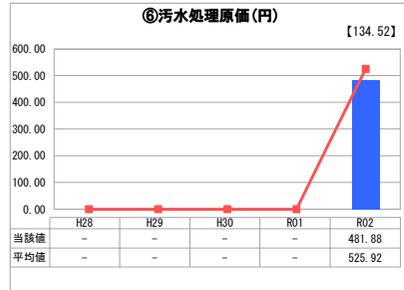
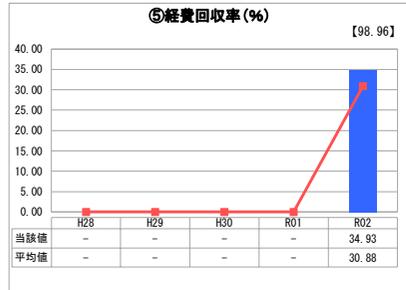
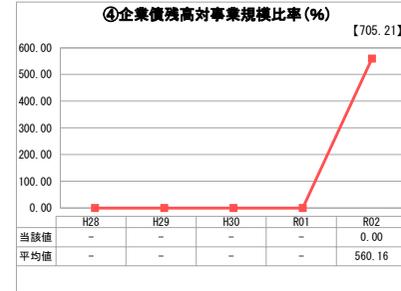
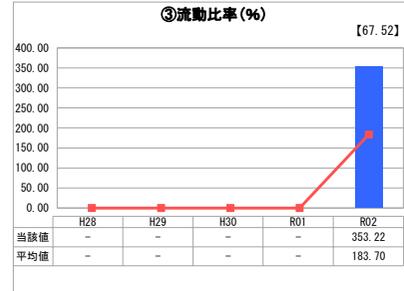
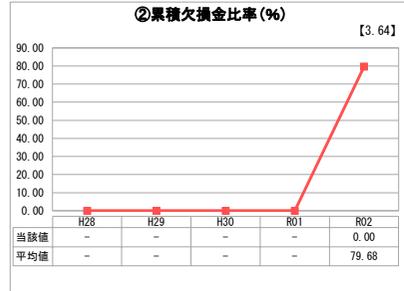
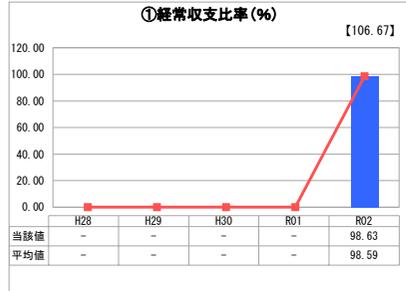
茨城県 銚田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	45.77	7.79	97.86	3,740

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,160	207.60	231.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,744	1.92	1,950.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
使用料収入、一般会計繰入金等の収益で維持管理費や企業債支払利息はほぼ賚えている。ただし、⑤経費回収率は35%程度なので収益の大部分は一般会計からの繰入金となっている。

③流動比率  
流動資産（現金等）が流動負債（1年以内の支払額）に対して3倍以上あり、短期的な債務に対する支払能力は確保されている。

④企業債残高対事業規模比率  
企業債は一般会計が負担することとなっているので、比率は0となっている。

⑤経費回収率  
供用開始から間もないため、徐々に使用料収入が増えてきており回収率の増加を見込んでいる。使用料収入で賚えない費用については、一般会計繰入金を充当している。

⑥汚水処理原価  
現状は類似団体と同程度の数値となっているが、接続者の増加に伴い年間有収水量は増加しているため、今後さらに低下を見込んでいる。

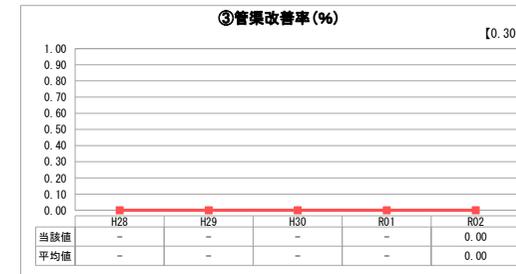
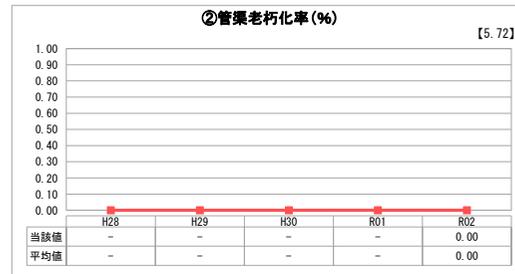
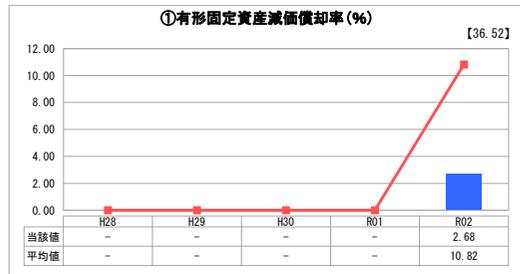
⑦施設利用率  
管渠整備が進み、一般家庭の下水道接続が増えてきたことにより処理水量も増加し、施設利用率が増加している。

⑧水洗化率  
接続率増加に伴い汚水処理人口は増えているが、管渠の新設工事により処理区域内人口も増加しているので水洗化率は微増である。

### 2. 老朽化の状況について

平成17年3月に事業着手し、平成25年4月に第1期地区が供用開始した比較的新しい施設なので、目立った老朽箇所はないが、電気機械設備等の耐用年数が短い資産については、定期的な点検や修繕により長寿命化を図る。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本年度から地方公営企業法を適用したことで、過年度と全指標を比較することができないが、下水道接続者の増加により有収水量と料金収入が徐々に増えており、経費回収率は類似団体並みの数値となっている。しかし、経費回収率の数値からもわかるように、収益の大部分は一般会計からの繰入金によっている。

今後も整備区域の拡大により料金収入の増加は見込まれるが、維持管理費の削減や接続率の向上により経営の改善を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。